(2022.12)
(情報公開文章用)

作成日　2026 年 9 月 4 日
第 1 版作成

2025 年 10 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に当院に入院された方及びご家族の方へ

―「川崎医科大学高齢者医療センター入院患者における抗コリン薬リスクスコアの実態調査」へのご協力のお願い―

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学高齢者医療センター	薬剤室　薬剤師	森安　里彩
研究分担者	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部　薬剤師	長門　亜侑
	川崎医科大学高齢者医療センター	薬剤室　主任	滝波　昇悟
	川崎医科大学高齢者医療センター	薬剤室　薬剤室長	草信　晴美
	川崎医科大学総合医療センター	薬剤部　部長	監物　英男

１．研究の概要

抗コリン作用※) を有する薬剤は高齢者においてものを考えたり・覚えたりする力が衰えたり、全身からの情報を集めて処理・統合し、思考・感情・運動・感覚などの指令を発信する場所が機能しなくなったり、運動する力がなくなってきたりなど様々な有害事象との関連が報告されています。2024 年に日本老年薬学より初めて「日本版抗コリン薬リスクスケール」が完成しました。本研究では当院入院患者における抗コリン薬リスクスコアを調査し、上記有害事象のうち「転倒・転落」を起こした患者について抗コリン薬リスクを評価し今後の課題について検討します。

※抗コリン作用とは、神経伝達物質「アセチルコリン」の働きをブロックし、副交感神経の作用を抑える働きです。

２．研究の方法

1) 研究対象者

2025 年 10 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの期間に川崎医科大学高齢者医療センターへご入院された方

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 4 月 1 日

3) 研究方法

2025 年 10 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの期間に当院へご入院された方を対象として、持参薬の剤数、入院時及び退院時におけるリスク薬剤数、リスク点数の推移、転倒・転落患者でのリスク評価を調査し、今後の課題について検討します。

4）使用する情報の種類

持参薬内容、処方内容、年齢、性別　等

5）情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学高齢者医療センター薬剤室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6）研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2027 年 1 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

＜問い合わせ・連絡先＞

川崎医科大学高齢者医療センター　薬剤室
氏名：森安　里彩
川崎医科大学高齢者医療センター　〒700－0821　岡山県岡山市北区中山下二丁目 1 番 80 号
TEL：086-225-2112　内線：41120（平日 8 時 30 分～17 時）
FAX：086-201-5177

３．資金と利益相反

この研究において、資金の受入および使用はありません。
本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。